

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：生活環境課

シート No.：72

作成日：2025. 5/15

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅳ生活環境の充実	事務事業の背景・目的		事務事業の目標	
	施策の目標	2 自然と調和した生活環境をつくる	公害に関する事案は毎年発生しており、発生元 の特定から解決までかなりの時間を用いています。 また、公害に関する苦情も年間を通して多数 寄せられています。		市民と企業がお互い気持ちよく共生できる環境 づくりを目指すためには、公害の監視体制の確立 や問題の早期発見、解決が求められます。 特に水質事案は、周辺環境への影響を最小限に するために、オイルマットを設置するなどの早急 な対応が必要となります。 それらの早期対応や早期解決に努めるため、市 関係各課や茨城県等と連携し、迅速に対応します。 また事案解決に平行して、事業所排水や河川水 の水質検査を実施していくことで、自然と調和し た生活環境を目指します。	
	施策	2 公害防止				
	施策内容	公害の監視・指導の推進				
	その他、根拠法令 及び分野別計画等	常総市公害防止条例・水質 汚濁防止法				
事務事業名		公害防止推進事業				

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
事業所排水 水質分析調査 （R 6・7・8）	市内事業所における排水の水質分析及び指導	実施件数（件）	41	41	926 千円	704 千円
			40	41		
大気汚染(ばい煙) 事案調査 （R 6・7・8）	市内で発生した野焼き等に関する事案調査及び指導	実施件数（件）	—	—	0 千円	— 千円
			35	—		
騒音及び振動事案調査 （R 6・7・8）	市内で発生した音や揺れに関する事案調査及び指導	実施件数（件）	—	—	0 千円	— 千円
			8	—		
悪臭事案調査 （R 6・7・8）	市内で発生した臭いに関する事案調査及び指導	実施件数（件）	—	—	218 千円	275 千円
			4	—		
水質事案調査 （R 6・7・8）	市内で発生した水質に関する事案調査及び指導	実施件数（件）	—	—	229 千円	229 千円
			5	—		
河川水水質分析調査 （R 6・7・8）	市内河川における水質分析及び調査	実施件数（件）	80	80	1, 189 千円	1, 513 千円
			80	80		
広域公害調査研究会 （R 6・7・8）	他市町村との公害対応の研究及び鬼怒川における水質分析	実施件数（回）	3	3	113 千円	113 千円
			3	3		
土壌事案調査 （R 6・7・8）	市内で発生した土質に関する事案調査及び指導	実施件数（件）	—	—	143 千円	246 千円
			2	—		
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値
事業所採水基準適合率	90%	92. 5%
公害事案解決率	100%	80. 9%
河川採水基準適合率	90%	64. 7%

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
今年度実施した事業所排水水質分析調査では適合率が 92. 5%となり目標を達成することができました。適合しなかった事業所に対しては、改善報告書の提出を求め、適合しなかった全ての事業所に改善が見られました。今後も事業所に対して適切な指導を実施し、公害防止を促していきます。 今年度発生した公害事案につきましては、解決率が 80. 9%となりました。未解決の事案に関しても市関係各課や茨城県と連携し、解決に努めてまいります。	☒ コスト	☒ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	今後も公害の監視・指導を強化し、問題の早期発見・解決に努めることで、自然と調和した生活環境づくりを目指します。 また水質事案などの緊急事案に備えて、オイルマット等の備品の継続的な予算を確保するとともに、市関係各課や茨城県などと連携を推進することで早期対応及び解決を目指します。			